

< 道路整備事業に係る >

要 望 書



国道4号一関平泉地区4車線化整備促進期成同盟会
広域道路・国道284号整備促進期成同盟会
国道342号整備促進同盟会
国道343号・広域幹線道路整備促進期成同盟会
新笹ノ田トンネル整備促進期成同盟会
栗原北上線県道昇格促進協議会
栗原北上線県道昇格整備促進期成同盟会

栗原北上線県道昇格促進協議会

〔一関市 北上市 奥州市 金ヶ崎町 平泉町 栗原市〕

栗原北上線県道昇格整備促進期成同盟会

(仮称) 栗原北上線の県道昇格について

宮城県北、岩手県南に位置する当地方は、栗駒国定公園、栗駒山麓ジオパークや中尊寺、毛越寺に代表される「平泉の文化遺産」など、自然や歴史の豊かな地域特性に恵まれております。

一方、国道4号西側の栗原市金成から平泉町までの区間は、南北の幹線道路が東北縦貫自動車道及び国道4号の2路線のみとなっており、行楽シーズンや年末年始、また、集中豪雨や大雪等の災害により、東北縦貫自動車道が通行止めになった場合には、国道4号に車両が集中し、通行に大きな支障をきたしております。

甚大な被害を受けた平成20年6月の岩手・宮城内陸地震及び平成23年3月の東日本大震災においては、被災地のいたるところで橋梁や道路が分断され、孤立する地域が発生するなど、被災住民の救助や救援物資の輸送などが大きな課題となりましたが、複数の幹線道路があれば、平時はもとより、災害発生時においても迂回路や輸送路として十分な機能を果たすことが期待されます。

奥州市胆沢から北上市の国道107号までは、広域農道として整備された道路を市・町道として管理し、国道4号の補完路線として大型車両による広域的な利用が大半となっておりますが、岩手県において、平成23年11月から平成26年2月までに計8回、県道昇格検討会において検討をいただき、平成28年4月に「一般県道前沢北上線」として県道認定いただきました。

残る宮城県栗原市金成から岩手県奥州市胆沢までの区間についても、令和5年3月をもって計画路線全線の整備が完了したことから、国道4号を補完する幹線道路として、県道昇格されますよう特段のご配慮をお願いいたします。

令和7年11月7日

栗原北上線県道昇格促進協議会

会長 一関市長 佐藤 善 仁



栗原北上線県道昇格整備促進期成同盟会

会長 阿部 良 弘



